

「中村家住宅洋館」

1. 登録有形文化財の概要

- (1) 名称 中村家住宅洋館
- (2) 所在地 中野区中野一丁目(区立中野中学校北側)
- (3) 年代 明治時代後期に現港区内に建造、大正4年(1915)現在地に移築
- (4) 登録範囲 現建物のうち西側洋館部分の延138.5㎡

2. 解説

屋根は日本瓦葺き、外壁は横板張りで、1階は玄関・寝室・居間・廊下、2階は洋室・和室・廊下で構成されています。1階、2階洋室北側には暖炉があり、2階暖炉は細かな彫刻を施した大理石で構築され、天井は木製の装飾を廻した板張りです。

玄関部分のステンドグラスなど大正期の後補もありますが、全体として、外装内装とともに、明治期の特徴を濃厚に残しているものといえます。



外観の状況（南西側から）

左側窓は内開き、中央窓は上下開放、右側窓にステンドグラスが見える。



玄関（北側から）

上部と左側小窓・右側窓に大正時代のステンドグラスが施される。



2階洋室（南側から）

暖炉周りの大理石には細かな彫刻、天井は装飾が施される。